

下校時刻一覧

登校時間は、7時55分から8時5分です。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1	火	★	★	★	★	★	★
2	水	★	★	★	★	★	15:00
3	木	★	★	★	★	★	★
4	金	★	★	★	★	★	★
7	月	★	★	★	★	★	★
8	火	★	★	★	★	★	★
9	水	★	★	★	★	★	★
10	木	★	★	★	★	★	★
11	金	★	★	14:45	★	★	★
14	月	★	★	★	★	★	★
15	火	★	★	★	★	★	14:30
16	水	★	★	★	★	★	★
17	木	11:00	11:00	11:00	11:00	12:35	12:35
18	金						12:00
22	火	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	
23	水	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	
24	木	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	
25	金	12:35	12:35	12:35	12:35	12:35	

連絡用のメールアドレスです。

ky-ekodaes@city.yokohama.jp

卒業式・入学式・離任式

3月1日（火）時点で、まん延防止等重点措置が延長される報道がなされていますので、6日以降も、これまでと同じように学校生活を送っていくことが考えられます。今の時点では、卒業式については、昨年度と同様の形で実施する予定です。卒業式に出席するのは、6年生と保護者が2名まで参加という形をとらせていただきます。保護者席については、学年から詳細をお知らせするプリントを配付いたします。入学式ですが、今年度と同じ形で4月7日に実施する予定です。入学式は新生と保護者（保護者は児童1名に対して2名以内）の参加ということで、ご了承願いたいと思います。離任式ですが、在校生に向けて、放送で会を進めます。在校生以外は、参加できません。

通常の日程の日の下校完了時刻と、その下校完了時刻を表す印

給食当番	13:40	★
掃除当番	14:05	

その週のお子様の当番については、学年や学級から配付されるプリントでご確認ください。

現時点では、まん延防止等重点措置が実施されています。今後、緊急事態宣言が発令された場合、予定を変更することが考えられます。ご承知おきください。

欠席連絡だけでなく、諸連絡もリーバーで

日々の健康観察にご協力いただきありがとうございます。皆様のご協力をいただき、すべてのご家庭が登録してくださいました。

リーバーには連絡欄があります。ご家庭からの連絡についても、リーバーで行っていただければと思います。ご協力お願いいたします。

なお、16時までにご連絡いただければ、対応が早くできますので、よろしくお願いいたします。



学校だより 3月

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/



荏子田小学校

令和4年3月1日

月	火	水	木	金	土	日
	1 授業参観② 学級懇談会	2 6年校外学習 学級懇談会	3 授業参観③ 学級懇談会	4 個人面談①	5	6
7 個人面談②	8 6年生ありがとうの会 個人面談③ 学校カウンセラー来校日 全日	9 授業参観④ 学級懇談会	10 個人面談④	11 3年校外学習 個人面談⑤	12	13
14 個人面談⑥	15 大掃除 卒業式予行	16 給食終了	17 卒業式準備	18 卒業証書授与式 1～5年生登校なし	19	20
21 春分の日	22 大掃除 1年・3年・5年	23 大掃除 まなび・2年・4年	24 あゆみ配付	25 修了式 離任式	26 学年末休業	27
28	29	30	31	1	2	3

4月の主な予定

- 7日（木） 着任式・始業式・入学式
- 13日（水） 給食開始
- 19日（火） 全国学力・学習状況調査 6年
- 23日（土） 土曜授業参観（代休は5月2日です）
懇談会
- 26日（火） 横浜市学力・学習状況調査
- 27日（水） 横浜市学力・学習状況調査

もし、お子様が使わなくなったデュプロがありましたら…。

今回はプラレールを寄贈していただきありがとうございました。とても沢山のプラレールをいただきました。来年度、教育活動に活用していきます。

今回は、お使いにならなくなったデュプロ（レゴの大きいタイプのもので）がございましたら、ご寄贈いただけたらと思います。よろしくお願いたします。

2月のある風景から～担任の先生がいなくても～

2月は、担任の先生がお休みのクラスに代わりに入ることが多くありました。

ある日の朝、1年生の教室で子どもたちが登校してくるのを待っていました。

すると1人が、

「おはようございます！」

と、入り口であいさつしてから教室に入ってきました。続いて登校してきた子たちも元気よくあいさつをしてから入ってきます。

しばらく朝の支度をしながら、わいわいと過ごしていますが、8：10になると遅れることなく朝の会が始まります。いつもの通りプログラムは進んでいきます。すると、一瞬シーンとして、日直さんが私の顔を見ました。どうやら、ここからは担任の先生がいつも進めているプログラムのようです。私は少し考えて、日直さんにその役割を頼んでみました。

「塚本先生は、いつもどうやって進めているかわからないから日直さんが代わりにやってくれますか。」

「うん。できるよ！いつも〇〇先生はこうしてる！」

そう言って、ちょっと誇らしげに担任の先生の役割をやってくれました。

1年生は、1日のほとんどを担任の先生と過ごします。そんな中、慣れていない代わりに先生と一緒に過ごすことになっても、いつもの通りの生活を送ることができたのは、4月から毎日少しずつ先生や友達と一緒に学んできたからこそだと思います。どこか不安げで緊張していた4月の姿とは全く違って、「ぼくたちできるよ！」「わたしたちにまかせて！」という頼もしい姿がそこにありました。きっと、来年度の1年生に、張り切っているいろいろなことを教えてくれるのではないかと思います。

でも、毎日、下校の時に必ず「あしたは〇〇先生（担任の先生）来る？」とたずねてくる姿は、相変わらず“先生が大好きなかわいい1年生”だったことも付け加えておきます。

児童支援専任 塚本裕美



校庭整備も終わり

校庭整備をしたことで、校庭がきれいになりました。今回の校庭整備で、校庭の西側に一輪車の練習用の補助器具を東側から移転しました。そして、練習用の補助器具の周辺をアスファルトで舗装しました。今まで以上に休み時間に一輪車の練習に取り組む子どもが増えています。

また、造形砂場近くに、各学年が学習で利用する植物を育てるための畑も設置しました。これから、ジャガイモやサツマイモ、ハウセンカなどを植えていくことになると思います。校舎周辺の花壇は、今は、チューリップの球根をたくさん植えました。今年は、様々な種類の球根を寄付していただきました。例年以上にたくさんのチューリップが春を彩ってくれることを楽しみにしています。



初めての試み

感染症への対策をいろいろと取らなければならなくなった2月でした。学級閉鎖したクラスでは、オンラインで授業を行いました。また、その他のクラスでもリモートで授業に参加するというケースが増え、できる限りの対応を行ってきました。6年生は「感謝の会」をオンラインで実施しました。少しずつオンラインで実施するための機材をそろえていっていますが、これまでに経験していないことばかりなため、準備した機材が十分でなかったり、想定していた通りにいかないことも多くありました。

日頃から、オンラインを活用している方も多くいらっしゃると思います。また、普段接しているメディアとの差が大きいことに対する苛立ちもあるだろうと思います。学校が時代に追いついていないなと感じられることが多いかもしれません。今年のオンラインでの取り組みを生かし、改善する必要があると実感しています。来年度以降、オンラインがどの程度必要になるのかは、わかりません。少しでも、不快感なくオンラインでの活動を実施できるように学校としても取り組んでいきたいと思っています。ご意見等ございましたら、メールでも、リーバーでも、ご活用ください。

言葉を学ぶために

今年度も、荇子田自治会、嶮山自治会に、本を寄贈していただきました。ありがとうございました。

寄贈していただいた本は、昨年度から「エゴノン文庫」として、図書室にコーナーを作っています。子どもたちが興味を持って読んでくれそうな本、名作といわれている児童文学などを厳選していただきました。

本が読まれなくなっているという話はもう何年も前から言われています。以前にも書きましたが、子どもたちだけでなく、大人であっても、本より簡単に情報を手に入れる手段が多くなっています。今や読書の対抗馬だったテレビさえも、その存在が以前よりも希薄なような気がします。実際、今の10代、20代と話をしているとテレビを見ない、テレビを持っていないという声さえ聞かれます。多くの情報は、YouTubeやインターネット上から得ているのです。もちろん、娯楽的な内容もテレビや雑誌などでなく、タブレットやスマホから得るほうが多くなっているのでしょう。今から何十年前には、電車の中で新聞やスポーツ新聞、漫画雑誌を読んでいる人が大半でした。今では、スマホを見ている人ばかりです。

テレビでさえ、その存在が危ういと言われる中で、活字を読むという行為が衰退する可能性を感じるのは、僕だけではないと思います。しかし、活字を読むことは必要なことです。小学校に入学して最初に取り組むことは、文字を覚えること。文字を読み、文字を書くことが最初の学習だと言ってもいいでしょう。文字といわれるものに、「音」が結び付き、誰が読んでも共通した音になっていることを認識します。共通の

形をした文字は、自分だけでなく、他人にも認識してもらえるものだという事を学習します。

学習が進むにつれ、漢字を覚え、アルファベットを覚えます。そして、多くの文字で綴られた文を読み、その内容を理解していきます。長い年月、そうやって人は学習をしてきました。ですから、活字と付き合うことの大切さは、これからも変わることはないと思います。

趣味は読書です。という言われ方をするとところを見ると、「読書」は、楽しみであるはずですが。荇子田小学校の図書室には、8000冊以上の本があります。自分が楽しみにできる本が1冊でも見つければ、読書は「楽しみ」に代わるのではないのでしょうか。

今回荇子田自治会、嶮山自治会に寄贈していた本が、子どもたちの心を動かすきっかけになってくれればいいなと思います。それは、「読書が趣味」になったり、「読書が楽しみ」になったりすることだと思います。もちろん、読書を通して、活字を読むことに習熟していくことも、学校としては期待したいところです。デジタル化された時代でも、文字から得る情報の重要さは変わらないと思います。文字を読むことは、学習の基本となることです。文を読み、その内容を理解することは、どんな時代になっても、大切なことだと思います。人間は言葉を使ってモノを考えています。言葉に対する感覚を鍛え、言葉を十分に操ることができるようになってほしいと思います。

(青木 勇)